

滋賀県立

精神医療センターたより

第37号 令和3年11月発行

- アルコールとの付き合い方についての動画を作成しました
- 入院患者さんとの音楽活動を紹介します
- オンライン会議の活用をすすめています
- 新しいポータブル X 線撮影装置が導入されました
- 精神医療センター 30 周年に向けて
- アクセス・受診案内

アルコールとの付き合い方についての動画を作成しました

令和3年度 滋賀県健康経営セミナー動画配信に、当院も「適正飲酒について」というテーマで参加し、2つの動画を作成しました。

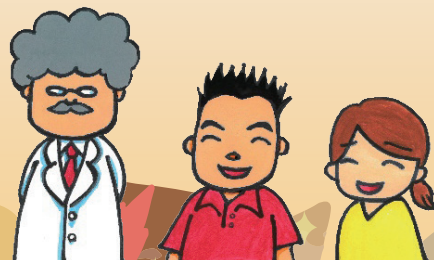
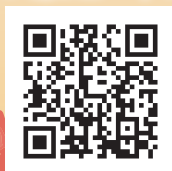
1つ目は、従業員の方に向けて『アルコールと長く付き合うために』という紙芝居調の動画です。2つ目は、従業員の健康と安全を守る取り組みをしておられる方に向けて『飲酒問題がある人に職場で対応するために』というクイズを用いた動画です。“伝えたいことは山のようにあるけれども、相手に受け取ってもらえないと意味がない”ため、伝わりやすさを最重要視し作成しました。

病院では、すでにお酒で何らかの問題が生じてからしかお出会いできません。そのことにスタッフは悲しい思いや悔しい思いをしてきました。今回、まだアルコール依存症になっておられない方に、お酒との付き合い方を見直してもらえるかもしれない、アルコール依存症になる方を減らせるかもしれない絶好の機会と考え、スタッフが知恵を出し合い作成しました。

新型コロナウイルス感染症は、ワクチン接種が進んできましたが、見通しがつきにくい状況は変わらず、まだまだ不安の強い自粛生活を続けておられるのではないのでしょうか。不安が募った時には、アルコールでほっとしたくなりますが、そこに頼りすぎずアルコール以外にも自然を感じる、運動する、人とつながる、美味しいものを食べる、そして不安になっている自分を受け入れ無理しない、といった対処もぜひご活用ください。

動画に興味を持ってくださった方は、『「健康しが」ポータルサイト』で検索するか、下記のQRコードで読み込み、是非視聴してみてください。

< QR コード >



入院患者さんとの音楽活動を紹介します

SELF LOVE



SELF  LOVE



Q. 結成された経緯は？

スタッフ同士の何気ない会話から、楽器に興味のあるスタッフが集まって始まり、今では総勢 10 名になりました。

ほとんどは楽器初心者ですが、何か新しいことにチャレンジしたいという心を持ったメンバーの集まりです。

Q. バンド名の SELF LOVE の意味は？


突然ですが、みなさんに質問です。あなたの 1 番身近な人とは誰ですか？

みなさんが思い浮かべた人、全てが身近で大切な人だと思います。

もう 1 人いつも 1 番近くにいてくれて、自分の味方をしていてくれる人はいませんか？

そうです。自分自身です。そんな自分自身を愛して、大切にあげて。

大切なことだと思います。だから SELF  LOVE にしました。

 は、みんなの心に希望の虹をかけたいという気持ちを表しました。

Q. どのような活動を？

医療観察法病棟で、患者さんと共にバンド活動（ギター、歌、踊り、作詞作曲）をしています。

昨年は病棟レクリエーションで発表を行い、大いに盛り上がりました。

患者さんから、今年も発表したいとの声があがり、現在練習中です。

Q. 活動で得られたものは？

「自分がやってみようと思ったことを行動に移せた」「人前に立って楽器演奏という形で自己表現できた」「今みたいに楽しむことを知っていたら、事件を起こさずに過ごせていたのかもしれない」などの感想が、患者さんから聞かれました。

困難だと思っていたことも、皆と活動を続けていくうちに形になり、発表の後は達成感が生まれました。上手くいかないこともあります。試行錯誤を繰り返す中で、挑戦することの大切さ、共に教え学びあう楽しさも感じています。

オンライン会議の活用をすすめています

新型コロナウイルス感染症が拡大し、直接集まって話し合うことが難しい状況ですが、患者さんの退院や地域定着が滞らないように、オンライン会議を活用しています。

コロナ禍においても、地域の支援者や外部機関との連携を図り、患者さんのスムーズな地域移行、定着を目指しています。

オンライン会議は、現地に移動する必要がなかったりと時間短縮になり、業務の都合がつけやすくなるなど、メリットも少なくないと感じています。



新しいポータブルX線撮影装置が導入されました

これまでと画像処理方法も変わり、撮影後その場においてわずか数秒で画像表示が可能となりました。このことから、画像診療や処置を伴う時の確認において、素早く対応ができ重宝しています。また撮影でのX線量も従来型より大幅に下げることができ、胸部撮影ではX線被ばくが半分程度と低減にも寄与します。軽量コンパクトな装置のため、従来大変苦勞した病室の出入り口扉の敷居も簡単に越えることができます。防水・抗菌性能も兼備し、感染症等も含め幅広い診療でスムーズに撮影が対応できます。

精神医療センター開設 30周年に向けて

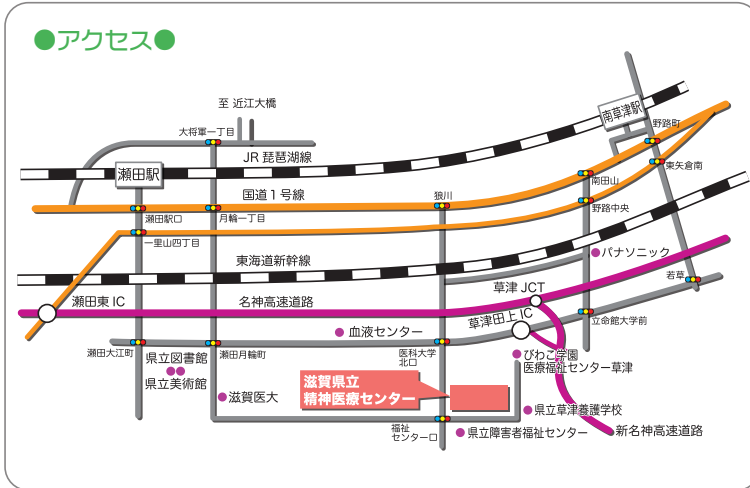
当センターは、平成4年9月に「精神保健総合センター」の精神科病院として開設されて以来、早いもので来年度に30年を迎えることとなります。これを節目に今後一層、県民の皆様のニーズに応え、より良い精神医療サービスを提供し信頼される病院づくりに取り組んでいくことが求められます。

そこで、このことを一つの契機として、さらなる職員意識の向上や広報発信力の強化等に繋がるよう次の取組を進めることとなり、院内に職員有志で構成されたワーキングチームを設置して検討を進めています。定期的に会議を開催し、活発な意見交換が交わされており、今後、完成すれば公表等を行っていく予定です。

- ・病院の理念、ビジョン等をデザイン化したロゴマークの作成
- ・これまでの歩みや写真資料等をまとめた記念誌の発行や広報等動画の作成



交通のご案内



JR瀬田駅から

- 1.バス（滋賀医大方面行き）
「大学病院」下車 徒歩 10分
- 2.タクシー 約15分

JR南草津駅から

- 1.バス（草津養護学校行き）
「県立総合福祉センター」下車徒歩1分
- 2.タクシー 約10分

自動車

新名神高速道路
草津・田上ICから約5分



外来診療のご案内

診療日：月～金曜日

休診日：土・日・祝日・年末年始

予約専用ダイヤルにて
予約をお取りください。

	月	火	水	木	金
精神科外来	千貫 桐山 柴原（午前） 栗本（午後・隔週）	辻本 濱川	大井 松村	柴崎 大門 松村 栗本（午後・隔週）	野口 金山
中・高生こころの専門外来		大門 野口 日指	藤井	桐山 尾関（午前）	
依存症専門外来			柴崎 千貫		大井 濱川
内科外来	浅田	浅田	浅田	浅田	浅田

※…精神科全般：アルコールおよびその他依存症、中高生の精神疾患、発達障害に関する診察、その他精神科疾患の診察を行っています。（認知症・てんかんの診察はしておりません。）

※…光トポグラフィー検査については、随時受付しますので申し出ください。

※…栗本医師の診察日については予約専用ダイヤルにてお問合せください。

予約専用ダイヤル：

077-567-5023 でお受けしています。

受付時間：

平日の9時から16時まで。

緊急時は、代表電話：

077-567-5001 へおかけください。

ホームページ（<https://www.pref.shiga.lg.jp/seishin/>）でもご覧いただけます。

〒525-0072 滋賀県草津市笠山八丁目4番25号

滋賀県立精神医療センター Tel：077(567)5001/Fax：077(567)5033

